

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 顔娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里（かざり）
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 4 年 8 月（着任 31 ヶ月）
主な活動	1. 夏の番所鼻公園の魅力をInstagramで発信！ 2. 田植えからはじまった米作りが終了しました

1. 夏の番所鼻公園の魅力をInstagramで発信！

先月に引き続き、番所鼻公園のInstagram更新に力を入れた 1 ヶ月でした。夏休み期間中ということもあり、家族連れや遠出を楽しむ若い人達を主なターゲットに設定。内容としては番所鼻公園の夏の魅力をお伝えするために、磯遊びの時に役立つ道具やシーホーウォークのショートコースを紹介しました。シーホーウォークでは、実際に歩いて撮影を行いました。日中の暑い時間を避けて、夕方の比較的涼しい時間を選んだつもりでしたが、思った以上に汗をかきました。これからの季節だと気温が落ち着いてくるので、散歩がてら良い運動になりそうです。とはいえ、結構な岩場を進むので歩き慣れた靴じゃないと危ないですね。身を持って体験できたので、投稿にもそれが表れていると思います。



また、今月の最後には「番所鼻公園の夏をふりかえる」をテーマに写真編と動画編で分けて更新しました。それぞれ、この夏に公園で撮影した素材を使って作成しています。何気なく過ごしていると気づかない植物の不思議な形や生き物の姿がカメラを構えると、いつもより視界に入ってくるような気がします。しかし、肉眼で見たおもしろさが写真にするとイマイチな状態になってしまうこともあって、何事も練習が必要ですね。夏の写真をたくさん撮ったことで、秋の番所鼻公園の姿も楽しみになってきました。



9 月は夏休みが終わり秋に入るので、またちょっと違った内容で発信していけたらと思います。番所鼻公園をきっかけに、南九州市や南薩地域の認知度を向上していけたらと考えています。良かったら、アカウント名 **bandokorobana_park** で探してみてくださいね！

2. 田植えからはじまった米作りが終了しました

4 月に田植えを行った 2022 年の早期米作りが、8 月の稲刈り、脱穀をもって終了しました。普段の食卓で食べるお米も親戚が作ったものをもらっているの、米作り自体は割と身近な存在でした。とはいえ、小学生の行事以来の米作り。大人になってから米作りの機会に恵まれるとは……顚娃町に移住してからこそ体験ですね。とっても楽しむことができました。

というよりも、顚娃町に移住してから仲良くなったメンバーと楽しい範囲でできた、という表現の方が適していますね。暑い中での作業は体力的に心配もありましたが、指導してくれる農家さんやメンバーの明るさのおかげで、賑やかに作業を進められました。



最終的に自宅で食べるには十分な量の分け前をもらうことができました。食欲の秋に向けて、準備は万端です。脱穀中に、「次は大麦を育てる？」「来年はどんな米作りにする？」といった話題が出ていて、すでに来年の楽しみができました。

地域おこし協力隊としては、2023 年 1 月で任期満了となりますが、卒業後の暮らしの楽しみがすでに生まれている環境に、とても感謝しています。